



# 群馬の土地改良

No.250 令和2年1月31日

安中市 回ウバイ



## 新年のご挨拶

群馬県土地改良事業団体連合会会長 熊川 栄

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和初めての新年をお健やかに迎えのことに謹んでお喜び申し上げます。また、平素より本会の運営に特段のご高配を賜りますとともに、日頃から農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力とご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年も気候変動による豪雨災害が多発した一年でありました。6月の集中豪雨をはじめ、9月の台風15号、10月の台風19号は東日本を中心に甚大な被害を及ぼしました。自然の猛威を改めて思い知るとともに、安心・安全な農村地域を守るために農業水利施設等の防災・減災対策の重要性を強く感じているところであります。被災された全ての方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧、復興を願っております。

さて、我が国の農業・農村は、過疎化、農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、農業用施設の老朽化など依然として厳しい状況にあります。このような中、国においては「闘う土地改良」の旗印の下、昨年末に令和2年度の農業農村整備予算が閣議決定され、令和元年度補正予算を併せて、6,515億円が確保されたところです。これは関係皆様の熱意が中央に届けられた成果であり、引き続き地方からの声を届けていく所存であります。

また、県におかれましても、農業の体質を一層強化し、農村に活力を取り戻すため、次期群馬県農業農村振興計画を策定中であり、そして農業農村整備においても新たな農業農村整備計画の策定に取り組みされており、各課題に対応するための各種施策が展開されているところであります。

本会といたしましても国や県の施策に呼应し、関係機関と連携を図りながら、会員皆様方の負託に応えられるよう、役職員一丸となって努力して参りますので、関係する皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年10月14日に、第43回全国土地改良大会群馬大会を高崎市内の「Gメッセ群馬」にて“鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて”をテーマに開催いたします。本大会では、農業・農村の重要性と土地改良事業の価値や役割を広く理解していただくとともに、本県の農業・農村の姿、また群馬県の魅力をご堪能いただけるよう努力して参ります。本大会が有意義な大会となるよう、国並びに県、また会員の皆様のご支援・ご協力を賜り、万全の体制により皆様をお迎えられるよう準備を進めて参りますので、多くの皆様にお越しいただきますよう心よりお待ちしております。

結びに、今年一年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会会長 二階 俊博

令和2年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。昨年、6月、8月の大雨、さらに台風第15号、第19号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和2年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る4,433億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると6,515億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年7月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に12年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであり、これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成30年の7月豪雨では、全国で32カ所のため池が決壊し、尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、2年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者として、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



## 新年知事あいさつ

群馬県知事 山本 一太

明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また日頃から本県農業・農村の振興発展はもとより、県政全般にわたりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年知事に就任して以来、文字どおり「全力疾走」を続けてきました。現場に足を運び、数多くの人と意見を交わし、あらゆる課題についてスピード感を持って取り組んできました。毎日が決断の連続で、群馬県のために働けることに大きな充実感とやりがいを感じるとともに、知事としての責任の重さを痛感しており、身が引き締まる思いです。

新しい年を迎え、皆さまからいただいた期待に応えるため、常に先頭に立ち、全身全霊で「新・群馬」を創造していく決意を新たにいたしました。

今年は、本県の20年後を見据えた長期のビジョンと、今後重点的に取り組む具体的な政策を体系化した基本計画からなる「総合計画」を策定します。今後の県政の羅針盤となる計画です。多くの皆様のご意見をしっかりと伺いながら、計画の策定を進めていきたいと考えています。

群馬県は、豊かな観光資源やバランスの良い住環境など多くの魅力にあふれています。しかしながら、その魅力やポテンシャルが正しく評価されていないと強く感じています。こうした現状を打破するためには発信力の強化が必要です。4月から県庁32階の展望ホールに「動画放送スタジオ」を開設する予定です。さまざまな工夫を凝らし、国内外への発信拠点として大いに活用してまいります。

また3月には、県立世界遺産センター『「世界を変える生糸（いと）の力」研究所』が富岡市に、4月には、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」が高崎駅東口近くにオープンします。4月から6月にかけて、大型観光キャンペーンである「群馬デスティネーションキャンペーン」も開催されます。

これらの政策や事業を含め、昨年10月に発表した「全力疾走366プラン」に沿って、さまざまなプロジェクトを進めてきました。今後、具体的な施策展開や事業化に向けての取り組みを、さらに加速してまいります。

会員の皆さまには、引き続き県政へのご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆さまにとって幸多き輝かしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和2年1月



## 新年のご挨拶

群馬県農政部長 吉野 努

新年明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素より群馬県農政の推進にあたりまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、6月豪雨、10月の台風第19号により過去10年で最大の農地・農業用施設の被害が発生しました。頻発する自然災害に対し、日頃から防災・減災対策に対する備えが重要であると改めて認識された一年でした。

農業・農村を取り巻く環境は、担い手不足や高齢化、耕作放棄地の増加、グローバル化の進展など多くの課題に直面しています。

こうした中、現在、次期群馬県農業農村振興計画を策定しており、現状の課題に対応すべく、新たな視点を踏まえ、未来につながる担い手確保と経営基盤の強化や収益性の高い農業の展開、県産農産物の需要拡大、魅力あふれる農村の持続的な発展を展開することで、豊かで成長し続ける農業・農村の確立を目指し農政部一丸となって取り組む所存であります。

また、農業農村整備につきましても、新たな群馬県農業農村整備計画を策定しており、農業の収益性向上を図る生産基盤整備の推進や農業用水の安定供給、ため池の豪雨・地震対策などの安全・安心な農村づくり、農村が有する多面的機能の維持・発揮による魅力ある農村の構築、地域資源を活かした中山間地域の振興などに取り組んで参ります。

そして、今年是全国土地改良大会群馬大会が開催されます。全国から多数の関係者が集まり、県の魅力度発信に繋がることからしっかりと対応していきます。

これらの施策を推進していくためには、会員の皆さま方と行政等が連携・協働し、一体となって取り組むことが不可欠でありますので、今後とも、力強い支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまの御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

令和2年1月



## 新年のご挨拶

群馬県県土整備部長 岩下 勝則

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素より県土整備行政、とりわけ農業集落排水事業を始めとする汚水処理事業の推進にあたり多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、10月に上陸した台風第19号による被害が県内各地で発生いたしました。県土整備部が所管する道路、河川、砂防施設などにも大きな被害が発生いたしました。被災した施設を早期に完成させるため、災害査定を受け、復旧に向けた手続きを進めています。

県では、昨今の気象災害の激甚化・頻発化を受け、災害に対するレジリエンスNo.1の実現を目指し、昨年末に都道府県初の「群馬・気象災害非常事態宣言」と「群馬5つのゼロ宣言」を行ったところです。

また、今回台風の被害を少なくしたと言われております「八ッ場ダム」も今年3月に完成する予定です。完成にあたり地域住民の方々が安心して暮らせるよう土地改良整備をはじめ、生活再建に向けた取り組みを着実に取り組んで参ります。

さらに、下水道経営の持続可能性を確保するため、「汚水処理における広域化・共同化計画」の策定を進めるとともに、農業集落排水施設の特長や地域の実情を踏まえ、改築・更新整備に併せ施設の統廃合等について、関係機関と連携し、計画的に進めて参ります。

今後とも、「県民の幸福度向上」の実現に向け、社会資本の整備と維持管理にしっかりと取り組んで参りますので、群馬県土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様におかれましては、汚水処理事業の推進に対して、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。本年もよろしく願いいたします。

令和2年1月



## 新年を迎えて

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 しんどう かねひこ  
進藤 金子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げる次第です。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」(初回開始後百周年)も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円(対前年度比64億円増)を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいります。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいります。ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。

群馬県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。群馬県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の榮に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様から頂いたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も残念ながら群馬県においては台風19号をはじめ一連の自然災害により、約28億円の農林水産関係被害が生じるなど、農地や農業用施設も全国各地で大きな被害が広範囲で発生いたしました。早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割を踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特にため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和2年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけでなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地も推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、総額で6,515億円を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

また、産業政策だけでなく、家族農業や中小規模の農家、兼業農家の役割を再確認しつつ、地域農業、農村集落自身を守っていくための地域政策をバランスよく実施していかなければなりません。農政の基本となる食料・農業・農村基本計画の5年に一度の見直しが進められていますが、その中にもしっかりと位置づけられる必要があります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしております。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 令和元年度 群馬県農村地域再生可能エネルギー推進協議会 現地研修会



令和元年8月22日(木)、前橋市赤城大沼用水土地改良区の「赤城大沼用水発電所」において、群馬県農村地域再生可能エネルギー推進協議会現地研修会が開催されました。

この研修は、小水力等発電施設の適正な維持管理及び今後の導入拡大に資するために開催されたもので、県や市町村及び土地改良区

の担当者、21名が参加しました。

小水力発電に対する理解が深まり、今後の業務執行の上で大変参考になりました。



## 令和元年度 土地改良区等役職員研修会



令和元年11月7日(木)～8日(金)、渋川市伊香保町「ホテル木暮」において、農業農村整備の円滑な推進と土地改良区の運営管理を行う役職員の技術向上を図ることを目的とした「土地改良区等役職員研修会」を開催しました。

栗林副会長による開会の挨拶に続き、群馬県農政部 女屋参事から挨拶をいただきました。

研修は、関東農政局農村振興部 土地改良管理課 佐藤課長補佐の挨拶に始まり下記の通り行われ、二日間にわたり

129名が参加し、熱心に受講されました。

	研修内容	講師
1 日目	土地改良区の在り方について	関東農政局農村振興部土地改良管理課 課長補佐 佐藤大治郎 様
	多面的機能支払交付金について	群馬県農政部農村整備課 施設保全係 主幹 田村 篤史 様
	ため池の適正な管理・保全について	群馬県農政部農村整備課 整備係 係長 松本 裕弘 様
	全国土地改良大会 群馬大会等について	群馬県土地改良事業団体連合会 参事 片山 茂
2 日目	土地改良区の複式簿記会計について	群馬県土地改良事業団体連合会 総務課 補佐 岡 聡史
	土地改良関係法律相談等について	戸所仁治法律事務所 弁護士 戸所 仁治 様

## 農業農村整備の集い

令和元年11月11日(月)、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―が、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの共催により開催されました。

集いは、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットから約1,300名の参加があり、本県から20名が参加しました。

全国水土里ネット 二階会長の開会の挨拶に続いて、江藤農林水産大臣、森山自民党国会対策委員長、塩谷自民党農林食料戦略調査会長、西川内閣官房参与、都道府県水土里ネット会長会議 進藤・宮崎両顧問から挨拶がありました。

続いて、水土里ネット岐阜の藤原会長により、要請書案が読み上げられ、満場一致で採択されました。

来場の国会議員のご紹介後、映像による優良事例地区の紹介と続き、最後に本会の熊川会長による「ガンバロウ三唱」で閉会しました。

また、本県参加者は、集い開催に併せ本県選出国會議員に要請活動を行いました。



全国水土里ネット 二階会長 挨拶



本会 熊川会長による「ガンバロウ三唱」

## 群馬県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会及び宮城県・群馬県農業農村整備研究会合同開催セミナー

令和元年11月22日(金)、「群馬県公社総合ビル」において、令和元年度群馬県土地改良事業団体連合会農業農村整備部会及び宮城県・群馬県農業農村整備研究会合同開催セミナーが開催されました。

部会は、熊川部会長による挨拶で始まり、来賓として、群馬県農政部 女屋参事、富澤水利保全対策主監が出席され、女屋参事から挨拶をいただきました。熊川部会長が議長となり、議題1「平成30年度事業報告について」審議、承認されました。

また、県の情勢報告として「農業農村整備をめぐる情勢について」女屋参事から説明がありました。

合同開催セミナーでは、宮城県農政部 農地復興推進室 技術副参事兼室長補佐（総括担当）佐々木 義浩様より「みやぎの農業農村復旧・復興のあゆみ」について、群馬県農政部 農村整備課（宮城県派遣）技師 剣持 怜様より「宮城県における農業農村の復旧復興状況について」ご講演をいただき、162名の参加者は熱心に聞いていました。



熊川部会長 挨拶



合同開催セミナーの様子

## 令和元年度「第2回理事会」

令和元年11月29日(金)、本会において第2回理事会を開催しました。

熊川会長の挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部 女屋参事から挨拶をいただきました。

理事会は、理事8名、監事3名の出席のもと行われ、提出議案は、原案のとおり議決されました。



### ◆議 事◆

(1)通常議案

議案第1号 令和元年度(第2回)収入支出補正予算について

(2)第43回全国土地改良大会関係議案

議案第1号 第43回全国土地改良大会群馬大会計画の承認について

## 令和元年度「第2回監事会及び監査」



令和元年12月20日(金)、本会において、令和元年度「第2回監事会及び監査」を開催しました。

監査は下記のとおり行われました。

(1) 令和元年度業務に関する事項について

(2) 令和元年度会計経理に関する事項について

監査では、若田部代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告がありました。

## 今後の予定

開催日時	主催者名	行事名	開催場所
2月21日	本会	第3回理事会	本会
3月19日	本会	第63回通常総会並びに 第54回土地改良功労者等表彰式	群馬県J Aビル「大ホール」
3月26日	全国土地改良事業団体連合会	第62回通常総会・全国水土里ネット表彰式	東京都

## 群馬大会のポスター



●本会ホームページの全国土地改良大会群馬大会の情報を更新しました。



群馬県土地改良事業団体連合会ホームページ  
URL:<http://www.kakasi.or.jp/>



夢ふくらまそう・未来はぐくもう  
ぐんまの農業農村整備

### 水土里ネット 群馬

本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4  
TEL027-251-4105 fax 027-251-4139

中西部事業所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4  
TEL027-251-4106 fax 027-251-4222

利根・吾妻事業所 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1  
TEL0278-23-2161 fax 0278-23-2180

東 部 事 業 所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29  
(新田庁舎内)  
TEL0276-55-6185 fax 0276-55-6186